

2015年度 後期		リフレクションペーパー					
学科名	建築・デザイン学科						
科目名	フラックス・デザイン						
科目区分	専門科目	単位数	2単位	開講時期	1年次後期		
必修・選択の別	選択必修科目(デザインコース) 選択科目(建築工学コース) 選択科目(建築コース)						
担当者	嶋崎 浩樹						
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門や特定の領域に固執せず、常に広い視野から俯瞰する必要性を理解する。(A6)</li> <li>・分野を超えた繋がりの中で、それらのコネクションとネットワークを理解する。(D3)</li> <li>・身の回りの様々な物事を通して、プロフェッショナルとして身につけるべき教養を養う。(D3)</li> </ul>						
日程と内容	15/09/18 第1回	導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価法					
	15/09/25 第2回	パラダイム考1	創造的活動	コンピューターVSヒューマンエラー			
	15/10/02 第3回	パラダイム考2	疑惑	様々な視点から			
	15/10/09 第4回	パラダイム考3	異端	その重要性から			
	15/10/15 第5回	パラダイム考4	情報	ストックからフローへ			
	15/10/23 第6回	パラダイム考5	性差と家族像	マインドコントロールからの開放			
	15/10/30 第7回	社会とデザイン1	戦争	人間の歴史と建築およびデザイン			
	15/11/06 第8回	社会とデザイン2	建築	可能性と期待 flux design+architecture			
	15/11/13 第9回	社会とデザイン3	現象	現象としてのデザイン			
	15/11/20 第10回	社会とデザイン4	経済	世界経済の動きとデザインの関連			
	15/11/27 第11回	フラックス考1	世界市民	第一次・第二次産業の危機がもたらすもの			
	15/12/04 第12回	フラックス考2	BS+RPT	脳刺激と時間の捉え方			
	15/12/11 第13回	フラックス考3	メディア	映画・写真・アニメとTV			
	15/12/12 第14回	フラックス考4	ノイズ	線引きから生まれるもの失われるもの			
	16/01/08 第15回	まとめ	まとめ				
	16/01/22 第16回	定期試験					
成績評価基準	定期試験	70%	実技	0%			
	臨時試験	0%	部外評価	0%			
	報告書・レポ	30%	プレゼンテーション	0%			
	課題	0%					
	演習	0%	計	100%			
授業到達目標の達成度	いずれの到達目標に対してもおおむね達成した。						
反省点	議論が長引き、時間内に終了しない時があったためタイムスケジュールを守って進行する。						
来年度の計画	時間を守りつつ、より深い議論をできる環境をつくる。						
授業評価アンケートに対するコメント	特に無し						
履修登録者数	29名	定期試験受験者数	22名	合格者数	21名	合格率	95%